

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和2年度一般廃棄物最終処分場公害防止協議会		
開催日時	令和3年 3月 26日 (金) 午後3時開会 午後3時30分閉会		
場所	真野行政サービスセンター 会議室		
議題	(1) 令和2年度浸出水の処理状況について (2) 令和2年度放流水及び地下水の水質検査結果について (3) 第2期最終覆土工事について (4) その他		
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開		
出席者	参加者 地元住民代表、関係団体、有識者 11名 真野行政サービスセンター センター長 北見和子 事務局 真野行政サービスセンター 次長 菊池貞一 環境対策課 課長補佐 谷地喜文 環境対策課施設管理係 係長 中川祐亮 環境対策課施設管理係 主事 高橋 豊		
会議資料	別紙のとおり		
傍聴人の数	0人		
備考			

会議の概要 (発言の要旨)

発言者	議題・発言・結果等
谷地課長補佐	開会の挨拶
高橋主任	(1) 令和2年度浸出水の処理状況について ・令和2年度浸出水の処理状況について、資料1ページにより説明する。

<p>高橋主任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間運転水量 4,400 m³、年間放流水量 4,147 m³となっている。 ・平成 28 年度の覆土工事を実施した際に浸透性の低い覆土材を施したことにより雨水等の浸出水が、当時の覆土前に比べ放流水が約 40% 少なくなっている。 ・真野クリーンパークは平成 29 年末で、廃棄物の受け入れを停止しており、水処理のみ実施している状況である。 <p>(2) 令和 2 年度放流水及び地下水の水質検査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度放流水及び地下水の水質検査結果について、資料 2、4、5、6 ページ、採水場所について、資料 3 ページにより説明する。 ・令和 2 年度ダイオキシン測定結果について… (単位: pg-TEQ/L) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>地下水 上流</td> <td>5 月 0.016</td> <td>11 月 0.0015</td> <td>(基準値 1)</td> </tr> <tr> <td>地下水 下流</td> <td>5 月 0.004</td> <td>11 月 0.0036</td> <td>(基準値 1)</td> </tr> <tr> <td>放流水</td> <td>5 月 0.0037</td> <td>11 月 0.00011</td> <td>(基準値 10)</td> </tr> </table> <p>と基準値に対し低い数値であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水 上流・下流のダイオキシン以外の 24 項目、放流水のダイオキシン以外の 39 項目の検査結果は、全ての項目で基準値を下回っていた。 	地下水 上流	5 月 0.016	11 月 0.0015	(基準値 1)	地下水 下流	5 月 0.004	11 月 0.0036	(基準値 1)	放流水	5 月 0.0037	11 月 0.00011	(基準値 10)
地下水 上流	5 月 0.016	11 月 0.0015	(基準値 1)										
地下水 下流	5 月 0.004	11 月 0.0036	(基準値 1)										
放流水	5 月 0.0037	11 月 0.00011	(基準値 10)										
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水質検査はどこへ送って検査しているのか。 												
<p>谷地課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(一財) 新潟県環境衛生研究所に検査を委託している。 												
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放流水の結果は、飲料に適しているものなのか。 												
<p>金子佐渡検査センター長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料水の基準は、この検査基準とほぼ同じもので、20 を 70 年間飲み続けても体に害はないとされており、適していると考えます。 												
<p>谷地課長補佐</p>	<p>以上により、(1)、(2)の市の報告は了承されたものとする。</p>												
<p>谷地課長補佐</p>	<p>(3) 第 2 期最終覆土工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 期最終覆土工事について、資料 7 ページにより説明する。 ・すでに面積の 7 割が覆土完了しており、令和 3 年度に残り 3 割の工事を予定していたが、予算上の都合で令和 3 年度には出来なくなった。令和 4 年度に向けて予定するので、宜しくお願ひしたい。 												
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 期最終覆土工事の費用はどれ位かかるのか。 												

谷地課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・概算 7,000 万円となっている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、コロナ禍でいろいろな事業が先送りとなっている。第 2 期最終覆土工事は、令和 4 年度に確実に実施されるのか。
谷地課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・環境対策課として、令和 4 年度も引き続き予算要求し、何とか実現したいと考えている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・放流水のデータでは問題ないが、人命にかかわる事なので、優先していただきたい。
谷地課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・この公害防止協議会の会議結果も含め、対応していく。 <p>以上により、(3)の市の報告は了承されたものとする。</p> <p>(4) その他 なし。</p>
北見センター長	<p>閉会の挨拶</p>